

防衛大臣 小野寺五典 殿
近畿中部防衛局 局長 佐竹基 殿

抗議申し入れ書

京都府京丹後市宇川地区での新たな米軍基地建設計画を撤回せよ！ 5月工事着工を中止せよ！

日米政府がおし進めようとしている京都府京丹後市宇川地区における米軍Xバンドレーダー基地建設計画に対する人々の不安と批判、反対の声は、周辺地域から全国各地まで、日を追うごとに拡大している。私たちは今年2月28日、米軍と一体となってこの新たな基地建設計画を推進する防衛省・近畿中部防衛局に強く抗議し、この計画の撤回を申し入れた。いま5月からの基地建設工事の着工が宣言されるなかで、私たちは近畿中部防衛局に再度抗議し、宇川地区での新たな米軍基地建設に向けた一切の動きを即刻中断することをあらためて強く要求する。

米国のミサイル防衛網を拡大する京丹後市宇川地区でのこの新たな米軍基地建設に向けた動きは、すでに東アジアにおける政治的・軍事緊張を高めており、この地域の平和創造への道に著しく逆行している。それはまた、周辺地域が軍事攻撃の対象となる可能性をつくりだし、京丹後市の住民を戦争とそれがもたらす破壊への恐怖へと日々さらすものとなる。同時に、この新たな米軍基地建設は周辺の貴重な自然景観や生態系を破壊し、米軍基地・施設が存在する世界のどの地域でも繰り返されてきたように、米軍人・軍属による犯罪や事故を宇川地区、京丹後市、そして近畿一円においても引き起こさせていくであろうものである。それゆえ、私たちはこの京都府京丹後市宇川地区での米軍Xバンドレーダー基地建設計画に断固反対し、その撤回を求めるものである。

私たちはこのような重大な問題性をもつ計画を、近畿中部防衛局が米軍とともに、住民の声をまったく聞かずに、強行しようとしてきたことを強く弾劾する。宇川地区の多くの住民は、防衛省と米軍がどのように「安心・安全」を確保しようとしているのか、多くの不安と懸念を抱いてきた。しかし、近畿中部防衛局はそのような住民の声にまともに対応してこなかった。そもそも昨年8月以来、今月に入るまで、米軍用地と自衛隊基地拡張予定地の地権者が住む集落を除いては宇川地区全体を対象にした「住民説明会」さえ開催されてこなかった。その間近畿中部防衛局は、米軍のためにただひたすら用地の確保とその契約更新に奔走してきたのである。「米軍基地建設を憂う宇川有志の会」の36項目の質問書に対してもほとんど十分な回答はなかった。私たち近畿連絡会の質問書に対しても「(自分たちが)米軍に提供した用地にどのような建造物が建てられるのか米軍からは知らされていない」「日本環境管理基準にもとづく調査や基地の運用計画については日本側はまったく把握していない」などというあまりにも無責任な「回答」に終始してきた。この2月から3月にかけておこなった騒音、電磁界強度、水質に関する「事前調査」についてもその結果と調査方法を自ら公開していない。そうしたなかで、この4月13日から17日にかけての「住民説明会」で、この5月に基地建設が着工され、12月にはレーダーの運用が開始されると頭ごなしに一方向的に通告してきたのである。私たち主権者をあまりにも愚弄したやり方であり、断固として抗議する。

そもそもこの「住民説明会」は、質疑の時間が30分間しか設定されておらず、質問が続いているにも関わらず時間がきたからといって一方的に打ち切るという姿勢に端的にあらわれているように、住民の不安や懸念に誠実に応えようとするものではまったくなかった。当然にも、地元の住民はまったく納得しておらず、近畿中部防衛局に対する不信と抗議の声は強まるばかりである。

近畿中部防衛局は今年3月付けで「米軍に、規律保持、事件・事故防止に係る教育の実施の申し入れ」など4項目からなる「事件・事故防止のための取り組み（案）」なるものを宇川地区の区長会に提起しているが、そのようなことでは米軍犯罪はなくなる。米軍による犯罪が起きる度に「綱紀粛清」が叫ばれてきたが、それでもいっこうに米軍人・軍属による事件や事故がなくなる現実を近畿中部防衛局はどのように受けとめているのか。昨年末にも沖縄で米兵による性暴力事件が起こったばかりではないか。「米軍を信頼しています」といったあなたがたの無責任な態度が宇川地区、京丹後市、そして近畿一円で米軍人・軍属による犯罪や事故の新たな被害者を生み出すかもしれないのだ。

周知のように、新たな米軍基地建設予定地の宇川地区では、袖志・尾和・自衛隊官舎地区を除く地域全体で「米軍基地設置計画の撤回」を要求する署名に有権者の過半数を超える561筆が集まり、今年3月27日に京丹後市に提出された。この数字のもつ意味は実に重大である。さらにこの4月の「住民説明会」においては防衛省の「説明」に不信と不安の声が次々と発せられた。このような状況のなかで、5月から基地建設工事を強行することなど断じて許されない。近畿中部防衛局は住民の声に真摯に向き合うべきである。防衛省・近畿中部防衛局は住民、主権者の側に立っているのか、それとも米軍の側に立っているのか、ということである。私たちは、防衛省および在日米軍に対して基地建設工事の5月着工を中止し、京丹後市宇川地区での新たな米軍基地の建設計画を撤回するようにあらためて強く要求する。

米軍Xバンドレーダー基地反対・近畿連絡会

代表世話人 服部良一（前衆議院議員）

代表世話人 大湾宗則（京都沖縄県人会会長）

連絡先 京都市上京区四番町1 2 1-5 大湾宗則

TEL/FAX 075-467-4437